

セメント・同製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故の 型	労働者 規模
2017	1	13～14	流し込み工場から工場外のヤードに製品を積み込み運搬する際、積み込みをする前にトラックの荷台の雪を掃こうとしたところ、雪（氷）に足を滑らせ転倒し、荷台から地面に落下してしまい、左手首を地面にぶつけ受傷した。	50	221	1	10～29
2017	1	17～18	コンクリート製造工場内で、コンプレッサーの電源を切るために移動中、床（土場）に氷が張っていたため足を滑らせ、臀部と左手を床（土場）について転倒し、左手を負傷した。	66	719	2	1～9
2017	1	13～14	当社工場2階ミキサー室での作業を行ったあと、試験事務室へ向かうため階段を下降中、残り6段程度の部分で足を滑らし1階まですべり落ち、肘及び背中を打ち負傷した。	52	413	1	10～29
2017	1	13～14	工場内の製品出荷前置場で、基礎杭の鉄金具清掃作業（サビ取り）をしているとき、研削機（グラインダー）にワイヤーブラシを装着して操作・サビ取り作業をする際、着用指示を受けている保護員（防じん用メガネ）が着用せずに作業した為、サビ取り中に回転させているワイヤーブラシの破片が飛び、右目眼球に刺さり負傷した。	52	159	6	30～49
2017	1	8～9	台車をラインに乗せる時、車輪のつばがレールに乗っているのに大丈夫と自分で判断し、台車を押したところ、脱線して自分の左足の甲の上に落ちた。	29	362	7	30～49

2017	1	7～8	工場内当社作業所に於いて、鉄製型枠のクランプを外す作業中、鉄製バール（重さ2kg、長さ1m）を持って下から持ち上げた際に腰を痛めた。	65	921	19	10 ～ 29
2017	1	17～18	製造工場棟にて、清掃の為クレーンを使用して型枠を移動している時、天上クレーンで鋼製型枠を移動する為にクレーンオペレーターの補助をしていた。その型枠をフォークリフトに積み込む時にオペレーターが押しボタンを押し間違えてしまい型枠の間に指を挟んでしまった。その際、右手で型枠を押さえていたために挟んでしまい、ケガをした。	37	211	7	30 ～ 49
2017	1	14～15	工場内で、コンクリート製ブロック（練り張りブロック、W1000×L1000×D300mm、重さ370kg）の製造ライン上の型枠のバラシ作業中、型枠のクランプを外す為、製造ラインの傍に立って足を製造ライン下に踏み入れた際、足が滑り深く足が入ってしまい、移動して来た型枠の下部とストッパー部との間に足を挟まれ負傷した。	58	169	7	10 ～ 29
2017	1	11～12	会社構内でミキサー車のドラム内で付着したコンクリートのハツリ作業を行っていたが、ドラムから出て降りる際にステップを踏み外し、右足の脛をぶつけてしまった。しばらく様子を見ていたが、患部が腫れて、うっ血してきた。	46	221	3	10 ～ 29
2017	1	14～15	新規に搬入された型枠を場内に配達中、クレーンで型枠を反転作業していた時にチェーンのフックが外れ、右足に倒れて落ちた。	39	211	4	10 ～ 29
2017	1	8～9	ストックヤードにて、大型ダンプカーで碎石を運搬中、自身が運転する大型ダンプカーで運転席から落下し、自身が乗っていた大型ダンプカーに轢かれ死亡した。	56	221	7	10 ～ 29
2017	1	13～14	当社事業場内においてミキサー車の洗車作業をしていたところ、寒さのため路面が凍結しており、足を滑らせ転倒した際にミキサー車のシュート部分に胸を強打し受傷した。	51	416	2	10 ～ 29

2017	1	7～8	長さ100cm、高さ400cm、重さ約70kg板状のプレキャストなる製品を木の上に仮置きし目を離し移動しようとした時、製品が足の上に倒れ骨折した。	55	612	5	10 ～ 29
2017	1	13～14	場所打ち現場で、生コンクリートの荷卸し作業中にミキサー車のシュートの角度を変える為、手で押した際に足元が不安定だった為、バランスを崩し左手首を捻った。	38	221	19	10 ～ 29
2017	1	11～12	場内でベルトコンベアの上部のホッパー修理の為、ベルトの上で作業していた際にバランスを崩し、ベルトと鉄筋の間に左足が挟まり、宙吊り状態になった。	71	224	1	30 ～ 49
2017	1	16～17	作業場兼資材置き場の掃除をしていたときに躓いてしまい、積んでいたコンクリートの塊（約60cm×60cm×90cm）で胸を打ち、負傷してしまった。	39	417	2	—
2017	1	8～9	バージ塗装のためのサビ打ち作業をするため、単独で現場に向かうとき、バージに船に係留しようとし、誤って海に転落したものである。事故発生時は北西の風が強く吹いていた。船の出発時、定アンカーを設置していたが、プロペラにそれを巻いており、ロープを巻いたままバージに向かっている。	47	239	10	10 ～ 29
2017	1	15～16	工場内で、残コンで作成するブロック型枠を掃除中に、足元に型枠が倒れかかって足指先に当たり骨折する。	57	419	6	10 ～ 29
2017	1	11～12	工場にて、ウイング車の荷台上で荷物の移動作業中、荷物の落下防止用の縁で足を躓き、荷台から転落した。	54	221	1	10 ～ 29
2017	2	13～14	生コンクリート工場骨材ヤードにおいて、凍結した砂の影響によりホッパーが詰まりを起こしていた為、詰まった砂の状況確認をホッパー上部にて行う際、足元の砂が崩落したことで、試験員もホッパーに転落した。上半身胸部あたりまで砂に埋もれ圧迫により身動	62	523	1	10 ～ 29

			きが出来ない中、ホッパースチームから噴出される高温蒸気にさらされ両脚に熱傷を負った。				
2017	2	8~9	製造第三工場で脱型作業中、開口部の内枠を外すため、ハンマーで枠を叩いて押し出そうとした際に、左手が製品の開口部のタイルに接触して受傷したものである。	29	523	3	30 ～ 49
2017	2	22~23	被災者はフレコンが積まれたパレットを所定の場所に準備したが、他部品の投入状態が気になり確認に行くためパレット横を通過しようとしたところ、パレットの角に右足を引っ掛けて転倒した。転倒の際、咄嗟に左手をついて全体重が掛かり左手を負傷した。同時に右膝を床面に強打し負傷した。	59	379	2	100 ～ 299
2017	2	11~12	会社構内でミキサー車を洗車中にシュート（生コンが出てくる管）部分のカバーに左手の甲を挟み負傷した。	69	221	7	10 ～ 29
2017	2	14~15	組立鉄筋移動作業時、クレーンのペンダントを掴みに行こうとした時に足元の型枠に右脚を引っ掛け左足の膝を土間に打ちつけ転倒負傷した。	66	419	2	—
2017	2	9~10	造成現場でポンプ打作業のためコンクリートミキサー車をバックしてポンプ車につける時に、昇らないためアクセルをふかしたら、後ろが横すべりして右側の崖に落ちた。	45	221	17	10 ～ 29
2017	2	10~11	生コン配達現場で生コンの荷卸し後生コン車の後方のステップに昇り洗車作業を始めようとした時に、洗車用のポンプのスイッチを入れ忘れていたことに気付き、降りようとした時に生コン車フェンダー場でバランスを崩し舗装道路上に飛び降りる形になり左踵を強打し骨折を負う。	67	221	1	—
			本社工場ストックヤードにおいて、L字型PC板重さ約7t（H4305×W2950×T180×1580）製品検査の為3人で、クレーンで建起こし作業を行い製品は自立していた。Aさんは梯子に登って製品上部のフック取り外し作業、Bさんは梯子を支えており、下に				50

2017	2	11~12	あったモンキーが邪魔になり、Cさんに支えを交替してもらい移動する。Aさんは、フックを外し梯子から降りかけた時に何かしらの原因で、L字型パネル板が倒れだし、Cさんはクレーン本体の枠とパネル板に挟まれて頭部粉碎骨折で死亡した。	53	611	5	～ 99
2017	2	11~12	場内にて20tフォークリフトで部材運搬業務中、当該被災者はフォークリフト業務の手元補助に従事していた。第5工場北側ストックヤードに停車し、降車して作業中、他同様フォークリフトが接近してきたため、通路を譲ろうと移動する際に、当該者がフォークリフトに乗車しようとし、転倒した。フォークリフト運転手から当該者が見えておらず、当該者の転倒に気が付かないまま通路を譲る為に移動したフォークリフトの後輪に左脚を巻き込まれ被災した。	56	222	7	30 ～ 49
2017	2	15~16	敷地内で、コンクリートブロック（1メートル四方）の移動作業の補助をしている時に、重機で吊られたコンクリートブロックが想定以上に揺れ、コンクリートブロックと敷地の壁に挟まれて負傷した。	27	229	4	1～ 9
2017	2	15~16	運転中の調合ベルトコンベアのベントプリーに原料が付着してベルトが蛇行していた。運転中のベルトコンベアの下に潜り、付着していた原料を掃除用治具を使用して削り落としていたが、危険且つ、きれいに掃除できないと判断し、立ち上がろうとした際に、フレームを掴み損ねて、誤って左手がベントプリーに触れ、プリーとベルトの間に巻き込まれて被災した。	19	224	7	100 ～ 299
2017	2	17~18	PCストックヤードにおいて移動式クレーンのアウトリガーの敷板を片付けて、パレットの片付けをしようとフォークリフト右側から乗り込む際に右足がステップから滑りフレームに右手を掛けていたのが右肩関節に負担がかかり脱臼した。	32	222	19	50 ～ 99
2017	2	15~16	産業廃棄物処理場に荷物を運搬し、積み荷を降ろすために荷台で作業中、あおり板に足を掛けたところ、あおり板が倒れ荷台から転落した。左腰を強打し、当日は痛みをこらえ就業したが、翌日になっ	58	221	1	30 ～ 49

			ても痛みが治まらないため受診した。				
2017	2	16~17	工場内の生コン車駐車場で運転席から後ろ向きで降りようとした時、下段足のせ（55cm）を踏み損ない後へ転倒し頭、腰等を打撲した。（ヘルメット着用。）	60	221	1	10 ～ 29
2017	3	16~17	脱型作業における緊張ナットの解除をするため、ナットとカプラの位置関係を確認していたときにクレーンを北方向に逃がそうとした際、誤って東のボタンを押してしまい、自分の方向に向かってきたクレーンがPS導入機に衝突し、その勢いでPS導入機とそれを支えるフレームの間に右足の脛部分を挟み負傷した。	56	169	7	10 ～ 29
2017	3	14~15	歩いていたところ、廃材から出ていた番線に足をひっかけて左肩から転倒した。	60	417	2	30 ～ 49
2017	3	11~12	型枠部材を反転時、型枠部材を安全靴の間に左人差し指を挟み切創を負った。	36	521	7	50 ～ 99
2017	3	13~14	仕事を終え、残水処理場において洗車中に、足を滑らせ手をついたときに左手薬指を負傷した。	65	416	2	10 ～ 29
2017	3	16~17	台車の上に載せられた断熱材が送られてきて、次の工程に移る際、エアコンの吹き出し口に頭部が当たり、首を捻り負傷した。	29	391	3	10 ～ 29
2017	3	11~12	自社工場内でコンクリート製品用の鋼製型枠を取り外す際に、鋼製型枠の一部（幅70cm、高さ70cm、厚さ10cm）を倒して備え付けの台（高さ40cm）の上に載せる作業がある。今回はその備え付けの台の上に誤って左足を乗せて作業してしまい、倒した型枠と台の間に左足甲を挟み負傷した。	24	521	7	30 ～ 49
			車輛を道路端に駐車して洗車作業をしているとき、足をステップか				10

2017	3	10~11	ら踏み外して後ろによろけ、道路脇の畑（落差約2メートル）に転落し、首を強打し、頸椎を骨折した。	50	416	1	～ 29
2017	3	16~17	ブロック荷物を3トン車でお客様へ配達し、車から降ろす作業中、ボデー上にてボデーの奥にあるブロックを抱えてボデーの端まで持ってきたところ、よろけて左足をアオリに引っかけてしまい、そのままアオリを乗り越えて下に落下し、左肩をコンクリートの地面に強く打ちつけ負傷した。	45	221	1	1～ 9
2017	3	10~11	被災者は歩行にて作業場へ移動をしている際に、15cmぐらいの段差がある段差がある所につまずき、左足部を打った。	63	417	2	1～ 9
2017	3	10~11	工場内大型製品工場のコンクリート打設場に於いて、大型コンクリートブロック型枠へのコンクリート打設の準備のため、型枠が設置された鋼鉄製パレット上でコンクリート締め込み用バイブレーターの型枠への取り付け作業中、バイブレーターを抱えて右足を踏み下ろしたところ滑り転倒し、パレットで脛を強打した。	48	419	2	30 ～ 49
2017	3	8~9	第1工場にて移動トロリーを動かしたところ、動作しなかった為、被災者が移動トロリーの位置が操作盤の位置にて、被災者がサーマルスイッチを投入後、動作スイッチを操作することを何度か繰り返したが動作しなかった為、被災者の指示により事務所にAを呼び行きBが向かった。Bが現場に着くと移動トロリーは動作しており、プラント側の停止位置に有った為、被災者と打ち合わせの為そちらに向かうが、本人がいない為10分程度待つが戻らないので、又工場に戻り確認するが不明の為、工事部へ移動するも不在、その間に第1工場の者がトラバーサーピットに倒れている被災者を発見し救急搬送した。	72	416	1	10 ～ 29
2017	3	16~17	工場内で生コン作業中、コテを使い仕上げを行っている際、左の親指の付け根と手首から肘の間を痛めた。又、3月初旬頃から先輩社員が長期出張の為3人での作業を2人で1ヶ月程度行っており負荷がかかった。コンクリートの製造が全体的に体に負担がかかる業務で	25	364	19	1～ 9

			ある。				
2017	3	15~16	工場打設機内を掃除をしていた時、床の蓋（鉄板）を整えようとして（蓋は数枚ある）、持ち上げた蓋に隣の蓋が引っ掛かっていて、引っ掛かった隣の蓋を足の上に落として負傷した。	33	521	6	50 ～ 99
2017	3	9~10	生コン車チャーター先の、マンション設現場にて、生コン荷降し後、生コン車後部のシュート部分を洗浄中に、当日雨であった為、高さ1, 2m程の高さから、生コン車バンパーに転落し、股間をバンパーで打った。	46	221	1	30 ～ 49
2017	4	17～ 18	当工場にて、型枠にスコップを用いて生コンを補充していた際、左ひじを痛めて左上腕外側上顆炎と診断された。	60	364	19	30 ～ 49
2017	4	15～ 16	砂貯蔵槽内鉄板の補修工事を行うため、貯蔵槽内を空にする必要があり、一部残量があった砂の抜き出し作業を行った。被災者は工事請負業者の監督者と二人で、砂貯蔵槽に入り作業を開始したが、作業の開始後別の作業道具が必要となった。監督者は道具を取りに作業の場所を離れ、貯蔵槽を出た直後に突然槽内から発声があり、貯蔵槽上部より監督者が中を覗き込むと、残っていた砂が崩れており、砂の中に埋もれている被災者が視認された。なお、事故後、安全帯の装着は確認したが、安全確保策の形跡は確認できなかった。	37	418	1	10 ～ 29
2017	4	14～ 15	コンクリート製品用鋼製型枠の踊り場（高さ1.5m）から足場台（高さ1.4m）を使用して降りようとしたところ足場台がぐらつき足場台天端より転落した。	57	371	1	10 ～ 29
2017	4	13～ 14	当社工場内において回転式の選別機の清掃作業中、ドラムが回転し、ドラムと選別機の囲いの間に挟まれた。	57	169	7	10 ～ 29
2017	4	13～ 14	生コンクリート納入現場にて、荷卸後にコンクリートミキサー車のシュート部分を清掃している際、折りたたんであったシュートが急に倒れ、その継ぎ目に左手環指を挟み負傷した。	69	221	7	10 ～ 29

2017	4	10～ 11	ネギトロを作成するライン上で、右方向から流れてきたネギトロが本人の左側にあるローラーによって平らにされるのだが、右側に気をとられて左手をついた所、ローラーに巻き込まれてしまった。	39	522	2	1～ 9
2017	4	12～ 13	お昼休憩後、工場内において午後の出発に備え事務所から運搬車輛に戻ろうとした際、車輛駐車場手前にある排水溝（深さ7cm）に左足がはまり転倒し、左肩を強打した。	50	417	2	10 ～ 29
2017	4	15～ 16	超大脱型場にて、セグメントΦ1500×300Lの鋼殻（約300kg）に部材を取り付ける作業を単独で行っている際、取付位置が鋼殻の上辺にあった為フォークリフトで鋼殻を移動させ地面に置いてから取付位置を下へ向けようと鋼殻を回転させたところ、地面が凹凸で傾斜があった為、鋼殻が倒れそうになり咄嗟に支えようとしたが支えきれず、倒れてきた鋼殻で右膝上を強打した。	43	416	5	30 ～ 49
2017	4	14～ 15	包装機運転中に、充填部で製品が詰まり機器が停止したため、復旧しようと駆動部分のベルトを確認しようと点検口を覗き込んだ。その時に右手に持っていたハンマーがベルトに当たり、突然動作した為、右手が巻き込まれた。咄嗟に引き抜いたが間に合わず、右手中指が挟まれ被災した。	25	169	7	100 ～ 299
2017	4	11～ 12	納入先現場にて、生コンをミキサー車からドラム缶へ流しいれる際、ミキサー車の生コンを放出するシュートとドラム缶の位置が合わなかったので位置を合わせる為、放出シュートを手で持ち上げるという作業を何度か行った。何度目か持ち上げた時、左肩からビキビキと音がして痛めた。	74	921	19	10 ～ 29
2017	4	10～ 11	工場内試験室にて試験練りを実施する為、材料と道具等の準備をしていた際、生コンミキサーを運搬後に固定する為、4ヶ所あるストッパー（踏込式）を順番に掛けていた時、モーター下部にあるストッパーを斜めから右足で踏み込んだ際、右ふくらはぎに激痛が生じた。	38	162	19	10 ～ 29

2017	4	13～14	工事現場で杭打設のため荷卸しをしようと坂道をバックで登ろうとしたが登れず、途中で停止した。停止した状態から再度登ろうとした際に自分の感覚ではバックしているつもりだったが、生コン車はノッキングの様な状態になりバウンドをしながら下った。下り終えても約15m先に安全停止するまでバウンドを3回位したが、3回目で腰に違和感を感じた。	70	221	6	10 ～ 29
2017	4	13～14	工場内において、残コンクリートを洗車機にかけてコンクリートを砂と碎石を分級する設備で、シュートに固まった固形物を鉄筋を使って落としていた所、回転羽根に鉄筋が巻き込み、右の手の人差し指と親指の間を鉄筋で切りさかれてしまった。尚作業中は皮手袋を使用していたが皮手袋も破れてしまった。	46	169	8	10 ～ 29
2017	4	11～12	生コン荷卸し終了後、現場内で洗車作業中にシュートバック内に溜まった洗浄水をドラムに戻す作業をし始めたところ、後部ステップの1段目に足をかけようとしたタイミングで手摺から手を滑らせたため、バランスを崩し地面に落下した（落下高さ約1m35cm）。左足から着地して両足が開く状態で膝をついた際、左股関節あたりを痛めた。	56	221	1	10 ～ 29
2017	5	10～11	工場内の鉄筋加工場において、地上から約1.5mの高さで屋根の雨漏り修繕作業をしていたところ、登っていた脚立からバランスを崩して地面に飛び下りた際に左足踵を骨折した。	62	371	1	30 ～ 49
2017	5	14～15	工場上屋内で型枠にコンクリートを打設し終わり養生するため型枠の上面に角材をのせてシートで覆う作業時、角材をセットした後、型枠（H2.0m）から降りようとした時にバランスを崩し、転落を防ぐ為飛び下りた。コンクリート路盤上に着地したが、体重と重力が相まって、左足踵骨（かかと）の骨折に至った。	57	379	3	10 ～ 29
2017	5	16～17	自分の担当車を洗車しようとしたところステップから落ちた。	37	221	1	10 ～ 29

2017	5	16～ 17	当社工場内において破砕機の運転席から地面に降りようとキャタピラに乗った際、足が滑り勢いよく地面に足を着き転倒し、足首を捻り負傷した。	44	145	3	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	工場内洗車場にて、洗車をするため、バックで洗車場に駐車し、エンジンを止めて運転席から後ろ向きで降りる際、ステップから足を滑らせ、約2m下のコンクリート床に転落し、腰、背中を打撲、骨折した。	44	229	1	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	開梁の型枠サイズ替え改造作業で、脚立（1.7m）に座りラチェットレンチを使い継手のボルトを一度締め込み、増し締めするためラチェットレンチにパイプを差し込みボルトを締め込んでいたところ、ラチェットレンチからパイプが抜けて脚立から落下し負傷した。	47	371	1	30 ～ 49
2017	5	11～ 12	構内にて、生コンクリートミキサー車から降りる際、片足が浅い溝に入り転倒し、左手を地面につき、手首を骨折した。	56	221	2	50 ～ 99
2017	5	9～ 10	生コン工場敷地内で、大型コンクリートミキサー車のミキサードラム内に付着したコンクリートを除去する際、ミキサー車の横につけたホイールローダーのバケツに乗ってミキサー内に工具を入れようとした時、ホイールローダーのバケツと腕部の隙間に左手を挟んで負傷した。 ホールローダーのバケツを固定するストッパー部分が摩耗して遊びができていた。	52	141	7	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	就業場所にて、残水を捨て終わり、大型ミキサー車の上部のホッパー脇のステップから降りる時、一番下のステップで足を滑らせ、手で手すりを掴んでいたが支えきれずに落下してしまった。	52	221	1	50 ～ 99
2017	6	11～ 12	第一工場内で、フォークリフトのエンジンを切らずに降りたところ、フォークリフトが動きだした（ギアが前進に入っていた）ので、エンジンを切ろうとしてフォークリフトの側面とシャッターの柱の間に挟まれて負傷した。	66	222	7	1～ 9

2017	6	9～10	RC工場で建築部材の梁(2t)を脱型作業中、製品底部に埋め込んであるインサートを止めているボルトがある為、製品と一緒に底板枠を吊り上げ、リフトに置いてからボルトを外すつもりでいたが、その前にボルト位置を確認しようと型枠下に体を入れボルトに触れたところ、ボルトが抜けて型枠が落下し、型枠に挟まれた。	53	379	4	50 ～ 99
2017	6	16～17	工場内において、ライン（自動制御）にてストーンサークルA形型枠を4番養生槽へ移動していたところ、約10cm手前で止まっていたため手動に切り替え、定位置に進めるためプッシャーと型枠架台の間に角材（75×75×2050mm）を入れ、定位置まで移動した。一回目の動作で型枠架台が動いたが、角材が外れたため位置を直し再度押し、定位置に達したのでストップの合図をしたが、それと同時に角材が中央部で破損し、破片が顎に当たり負傷した。	68	169	4	30 ～ 49
2017	6	11～12	生コンクリートミキサー車ホッパー（生コンクリート投入部）の上部にのぼって、洗浄を終えて降りようとしたところ、車のステップの高さ1m位の所でバランスを崩し、左足の踵から落下した。	45	221	1	10 ～ 29
2017	6	10～11	工場内において、ミキサー車のドラム内に付着しているコンクリートを研っていたところ、取れたコンクリート殻が落ちて転がり、左膝に当たってしまい打撲した。	54	529	4	1～ 9
2017	6	11～12	工場内でコンクリート製品を脱型中に手が滑り、スチール型枠共に右足に落下した際、右人差指を骨折した。	58	611	4	1～ 9
2017	6	11～12	生コン車を会社敷地内に停めて、生コン積込口を洗おうとし、生コン後部の階段から上っていたところ、手摺りを掴み損ねて落下し、尻もちをついた。	70	221	1	10 ～ 29
2017	6	10～11	工場内の受材ホッパー下で泥等を除去中に、泥をドラム缶に移す作業をしていたところ、空のドラム缶を被災者本人が自分の方へ引き寄せた時に、左足の親指に乗っかり負傷した。	55	611	7	10 ～ 29
		9～	工場内にて、ハイタッチ型枠締固め作業中、ラジエットにパイプを				50

2017	6	10	入れ、締め作業をしていた。ラジエットの切替部分に不具合があり、空回りし、その反動により下に押し付けて指を怪我した。	57	364	3	～ 99
2017	7	14～15	コンクリート二次製品工場の製造場において、型枠の脱型をしている時に、型枠を固定しているボルトを締める作業中にラチェットレンチがボルトよりはずれ、高さ1m程の作業台より転落し地面に肩を強打した。	50	416	1	10 ～ 29
2017	7	9～10	当社製品置場において、トラックの荷台にコンクリート製の蓋を積み込んでいたところ、腰の右側に痛みを感じたがそのまま作業を継続し勤務終了後、痛みが治まらなかった。	44	611	19	1～ 9
2017	7	11～12	工事現場へミキサー車を運転して生コンを輸送後、現場でミキサー車を洗浄中、雨で濡れていたステップで足を滑らせ、地面へ落下した際、左肘をついてしまい骨折した。	62	221	1	10 ～ 29
2017	7	15～16	工場内で、パネル仕上げ作業をするため、休憩室から隣の作業台に向かう移動中（約10m）、スポットクーラーのコードに足が引っ掛かり転倒する。その際右手肘をコンクリート床に強打し負傷する。	55	417	2	10 ～ 29
2017	7	14～15	工場の仮製品置場でコンクリート製品の梱包をしていた。コンクリートの蓋をPPバンドで締めていた時PPバンドが切れ後ろに倒れた。倒れた所にコンクリート製品があり、右腕を切った。	39	921	19	10 ～ 29
2017	7	11～12	コンクリートブロックを分割する加工機（スプリッター）で、機械部品の組替え作業を行っているときに装置が稼働する部分の間にあるネジを外すため右手を差し込んだ際に自動運転を解除し忘れていたため、装置が稼働して右手の甲部分を挟まれて裂傷および骨折等のけがをした。	53	169	7	10 ～ 29
2017	7	10～11	作業所内で天井クレーンを使用し、鋼製型枠を振動台の上で移動、設置の作業中、クレーン下げ動作で型枠が振動台上に接地したと思ったが、実際には高さ10mm程度のズレ止めの上に乗っていて、型枠がずり落ちた衝撃で左手を添えていた型枠部品が激しく左手に接触した。	54	211	4	10 ～ 29

2017	7	8~9	生コン車で配達に行き現場の敷地外の空地より前進すべきところ操作ミスにより後方へ車両が動き10m下に転落した。	43	221	1	10 ～ 29
2017	7	16~17	工場内においてアート側溝横断暗渠（重量：約280kg）の反転作業を、他の作業員と2人で行っていた。右手で製品を支え左手で製品を持ち上げ反転作業を開始した。製品を輪木上に卸す時、製品と輪木との間で右手第2指を挟み負傷した。	46	529	7	10 ～ 29
2017	7	18~19	工場内で、作業終了後、車の運転席からドアを開けて降りようとした時、ステップの踏み外しによりバランスを崩して落下し、肘と頭を強打し被災した。	53	221	1	30 ～ 49
2017	7	11~12	当社工場内において、コンクリートブロックの製品を製造作業中、製品が仕上がったので型枠を左右に開いて外そうとした際、外した金具が足の上に倒れてきて、右足の中指つけねが挟まり負傷した。被災者も金具が倒れることを知っていて、足に当たらないよう避けていたつもりができておらず、ちょうど安全靴の足先の硬くないところに金具があたり負傷した。	34	391	6	10 ～ 29
2017	7	8~9	当日注文のあった生コンクリートを納入するためミキサー車で現場に出向き生コンクリートを荷卸し、注文数量を納入し終え、ミキサー車後方の車上ステップ2段目から下りようとしたところ誤ってステップを踏み外して高さ80cmから地面に落下、その時地面についた右手首を負傷した。	68	221	1	1～ 9
2017	7	14～ 15	工場敷地内に於いて、フォークリフト作業時にツメを差し入れたが、片方のツメが地面と指の間にひっかかったため手で調整しようとした時引っかかっていたツメが落ちてきて指が挟まり、左手中指の第一関節の骨にひびが入った。	36	222	7	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	当社敷地内にてミキサー車の洗車作業中後部車体と5段目ステップで誤って足を滑らせてしまい高さ2m位の所から地面に落下して負傷し	62	221	1	30 ～

			たものである。				49
2017	7	15～ 16	事務所内にてトラックの荷物の積み込みのため、荷台で作業していた際、ほうきにつまずきバランスを崩し荷台より背中から落下した。落下した先にフォークリフトがあり背中全体を強打した。	45	221	1	1～ 9
2017	7	14～ 15	工場内において、コンクリート製品を型枠から外す作業中、製品と型枠の間に鉄の棒（長さ73.3cm、直径3cm）を差し込み、押し上げた時に手が滑り、鉄の棒で下顎を強打し負傷した。	58	364	6	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	工場内で、コンクリートミキサーの掃除の準備中をしていたが、顔色が悪かったため暫く休んでいた。しかし次第に手足が痺れ、意識が遠のいていったので、救急車で病院に搬送された。	24	921	99	10 ～ 29
2017	7	15～ 16	構内でミキサー車のフロントガラスを洗車するとき、前面バンパーに足を掛けて乗ろうとして、上部のステップ（取っ手）に手を掛けたとき、その取っ手が腐食（劣化）していて取れてしまい、高さ1m位から落ち、腰を打撲した。	65	221	1	10 ～ 29
2017	7	17～ 18	屋根と2面の壁がある自社屋外作業場で、生コン運搬車に乗ってコンクリート製品の打設中、運搬車から降り、型枠に取り付けるための専用じょうごを運搬車から降ろそうとした。このとき、運転を止めたあとの運搬車が惰性で動いており、その運搬車を避けようとしたが、運搬車の下側にある巻き込み防止用の硬質ゴムの下に安全靴ごと左足が入り込んでしまい、骨折した。	38	221	7	1～ 9
2017	7	14～ 15	ミキサー車をコンクリート圧送用ポンプ車のホッパー部分に停車できるように誘導する作業を、建築現場にて行っていた。ポンプ車のホッパー内にはセンサーがついていて、生コンクリートが無くなると自動的にポンプが停止するが、そのセンサーが働かず、空気を空送りする状態となったので、慌てて異常停止ボタンを押した後、ポンプ車から下りる際にその段差により足を挫いた。	56	221	2	10 ～ 29
2017	7	13～ 14	生コンクリート納入の現場内で、ミキサー車の誘導作業時に、熱中症の症状で病院に搬送された。	57	715	11	1～ 9

2017	7	17～ 18	原料監視カメラ位置調整中、コンベア上での作業後、降りたときに安全柵の支柱を踏みつけ、足を捻って罹災した。	29	224	19	30 ～ 49
2017	7	10～ 11	現場へ建築用コンクリートブロック（12cm、重量11.2kg）162個を配達した際、荷降ろしのため商品を固定していたラッシングベルトを緩めたとき、最上段に積載していたブロックが1個落下し、右手人差し指に当たり負傷した。	33	221	4	1～ 9
2017	7	8～9	型枠組立中、つま枠に部材を取り付けているとき、つま枠を支えていた厘木が倒れ、つま枠が倒れてきた。	47	521	5	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	パイル脱型場で、パイル母型に付属する継手取付板（φ 80cm、重量50kg位）を転がして移動していた際、床にワイヤーがあったがそのまま転がしたところ、ワイヤーに乗り上げて傾き倒れ、足を挟まれた。	33	521	7	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	炎天下の屋外で、サイドポンプ修理の緊急作業を1時間程行ったあと、一旦水分補給等の休憩をとり、作業を再開したところ、本人が体調不良を訴えたため病院に搬送した。	49	715	11	30 ～ 49
2017	7	9～ 10	ブロック工場資材置場付近で、製品の脱型のため、リフト（クランプ車）で高さ30cm位の所まで製品（約43kg）を上げて、製品表面に付いている鉄板を外す作業中に、左先端の1個が外れ落下した。その際、たまたま製品の在庫確認のためにいた本人の左足甲の上に落ち、左足中指・薬指を骨折した。	59	222	4	30 ～ 49
2017	7	9～ 10	高さ1m位のトラックの荷台から、袋セメント（25kg）を降ろそうと持ち上げたときに負傷した。	31	611	19	30 ～ 49
2017	7	8～9	場内にて、生コン車に生コンを積み込み後、ホッパ及び洗車用ノズルガンを取ろうとしてステップを登ったとき、急にめまいがして、コ	64	221	1	10 ～

			ンクリートの地面に落ち、左足を捻り骨折した。				29
2017	7	9～10	当社工場から川に流れる排水溝の詰り具合を見るため、下に降り、さらに護岸ブロック伝いに川底へ梯子を下ろした。梯子を4、5段下り、排水口部分に垂れ下がっていた蔓を引いたときに、バランスを崩して約3m下の水面に足から落下した（水深60cm）。その際に川底の岩か、梯子か、堤防部分の護岸ブロックで強打したかは定かではないが、水から上がったあとに左膝に強い痛みを覚えた。	70	371	1	10～29
2017	9	16～17	当社生コンプラントにおいて、当日の生コン出荷後、生コンプラントのミキサー部の清掃作業中に右手にミキサー回転翼スイッチ、左手に洗浄銃を持ってミキサー内部を清掃中、誤って洗浄銃と回転翼に挟まり、あせって引き抜こうとしたら逆に手を取られ回転翼に左手を巻き込まれ、左手デクロービング損傷、左環指基節骨骨折を負った。	31	162	7	30～49
2017	9	9～10	社内行事のソフトボール大会（社員全員参加で業務の一環としての扱い）で準備運動（ラジオ体操）後、試合が始まりすぐ左足のアキレス腱を痛めた。	38	921	19	30～49
2017	9	15～16	材料となるセメントの給材ホッパー（2号ライン）周りで、成形機トラブルによるホッパー内に残った平モルタル廃棄準備中に、ホッパー開口部の板を外して、その上を歩いているときに体勢を崩して右足首を捻って骨折した。	32	391	19	10～29
2017	9	16～17	事業所（工場）内のプラント清掃中に、階段を下りる際、滑って落ちて右肩を打撲した。	46	413	1	1～9
2017	9	8～9	当社工場内にてコンクリート製品改造作業中、攪拌ブロック（高さ2.2m横63m）の上部ピン穴にピン（ボルト）を取り付けようと脚立でブロック型枠上部に登り移動した所、足を踏み外し後ろ向きに2.2m下の地面へ転落し、腰部を打ち負傷したもの。	56	371	1	30～49
			コンクリート製品置場で、製品のシートの破れ箇所の補修作業を実施中、製品に乗りテープにて補修作業をしていた。作業が終了し製				

2017	9	15～ 16	品から脚立Bを利用して下りようとしていた際、脚立の設置の安定が悪く又作業の補助者も不在であった。脚立に足をかけた際に脚立が転倒し、本人も転倒の際に右手より着地し、右肘を負傷してしまった。他の作業者も片付け作業のため当場所を離れており事故当時の目撃者は無かった。	35	371	1	30 ～ 49
2017	9	8～9	本社工場のコンクリート製品の製造ラインで、鋼製の型枠を開く作業をしていて、側板がある程度開いたところで、本来なら側板が当たらないように足を退避させておくべき所を、そうしないで側板から手を離れたところ右足の甲に側板が当たり被災した。	42	521	6	1～ 9
2017	9	15～ 16	コンクリートポンプ車の洗車をしている際に、車輛後部にあるコンクリートホッパーに付着した生コンを洗浄するため蓋（鋼板製）を開けてホッパー内に左手を入れて洗浄をしていたが、通常はストッパーで固定をすることとなっているが、すぐに閉めるからとストッパーをしなかったために、強風により蓋が閉まり左手を負傷した。	29	221	7	30 ～ 49
2017	9	9～ 10	工場内において、10t生コン車後部荷卸しシュート支柱内のスプリング交換作業を3名で行っていた、シュート支柱を外し内部のスプリングを交換後、シュート支柱を元の位置にセットするため、支柱上部の穴と下部の穴、それぞれに番線を差し込みチェーンブロックをセットする、輪っかを作り、支柱をチェーンブロックで縮めていた、ところが上部に巻いていた番線が切れ縮めていた支柱がスプリングの力で伸び、支柱下部を支えていた手を支柱と地面（コンクリート面）の間に挟み右環指を骨折した。	67	911	7	1～ 9
2017	9	12～ 13	工場内の車両洗車場にて、車両後部のステップに乗って車両を洗車中、ステップが濡れていたため足を滑らせ、左ひざを打ち負傷した。	47	221	1	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	工場内にて、生コン車を洗車後、ステップを降りフェンダーに足をついたところ、足がすべり地面に落下し負傷した。	46	221	1	10 ～ 29

2017	10	7～8	工場の骨材置場、前面側のカーテンを開く時、カーテンのフックを外すため、脚立で3mの所のフックを外した後、風でカーテンが煽られ脚立ごと地面に倒れた。いつもは、脚立を抑えてもらい作業をしていたが、2ヶ所あるフックを風が強いので、いつもとは逆に上から外したため一人作業になった。	67	371	1	10 ～ 29
2017	10	9～10	工場内において、製品の積み込み段取り作業中、フォークリフト用の延長フォーク（重さ45kg）をフォークリフト用の延長フォーク（重さ45kg）をフォークリフトにセットする際、手で抱えて床に置こうとしたところ、床と延長フォークとの間に指を挟んでしまい負傷した。	65	379	7	30 ～ 49
2017	10	8～9	資機材倉庫内で、資材の片付け作業をしているとき、車の荷台から資材を荷降し中に雨で濡れた車の荷台から資材を降ろそうとして足を滑らせて1.5m下の土間コンクリート上に頭から落下した。ヘルメットはしていたが、あご紐が掛けられていなかった為、落下時にはヘルメットが外れた状況であった。	60	221	1	50 ～ 99
2017	10	9～10	ハンマーにて水抜き管の詰まりを解除後、コンクリート擁壁上を伝って点検座まで移動中、擁壁上に堆積していたスラッジで足を滑らせ4m下の地面に転落し被災した。	53	418	1	1～ 9
2017	10	7～8	セメントサイロの隣の通路で、通行する時に、段差につまずいて前方に転倒し、右手で体を支えようと手をつけた時に、負傷した。	66	417	2	1～ 9
2017	10	10～11	コンクリート製品を製造現場にてアンカープレートをインパクトレンチを使用し取り外す作業中、ボルトを外す際、通常は少しずつ緩め、少し緩んだところでプレートを抑えて完全にボルトを外していたが、一気にボルトが緩み、「プレートが落下」。落下したプレートが体の（足の）方向に倒れてきたため、足を除けたが間に合わず、プレートが足の上に倒れ挟んだ。	65	521	7	10 ～ 29
		16～	ブロックマシン使用後の清掃中、砂ホッパー内を掃除しようとし				10

2017	10	17	ホッパーとホッパー格納庫の隙間（幅20cm×長さ2m×高さ2m10cm）に落ちた。	54	391	1	～ 29
2017	10	16～ 17	工場内にて、脱型後のコンクリート製蓋（1130×500×180mm・200kg）をクレーンを使って縦から横にしようとした時、吊り金具（アイボルトM20）のネジの入れ込みが少なく、はずれ、倒れてきた。コンクリート製蓋が左足脛に当たり負傷した。	53	611	6	100 ～ 299
2017	11	8～9	生コン納入後、現場から工場に戻り、ミキサー車を洗車するため、ミキサー車のステップを上った時、足を滑らし飛び降りたが、踵を強く打って負傷した。	48	221	3	10 ～ 29
2017	11	15～ 16	ブロック検品ライン作業中にブロック押し出し機にブロックが引っ掛かり止まってしまった。停止させて入らなければいけないエリアに停止させずにブロックを取ったところ、ブロックと押し出し機アーム部分（棒状）に右薬指を挟んだ。	50	391	7	10 ～ 29
2017	11	16～ 17	コンクリート打設準備作業場で、鉄製型枠の清掃及び組み立て作業をしていたところ、クレーンにて型枠を移動中フックが外れ、約40kgの型枠部材を20cmの高さから右足甲に落とし負傷した。	49	211	4	10 ～ 29
2017	11	5～6	製品切断工程の切断機で製品が詰まり製品板の排除作業中、切断機の電源を切ったが切断刃が惰性で回転していた為、手袋が引っ掛かり巻き込まれてしまった。右手中指第一関節より上切断、右手人差し指を骨折した。	35	121	7	30 ～ 49
2017	11	10～ 11	会社敷地内において薪割り機を使用して作業中に、薪を機械にセットする側と機械のスイッチを押して動かす側の安全確認がお互いに不十分だったために機械を動かした結果、薪と機械の間に右手を挟み小指及び薬指を負傷した。	71	139	7	10 ～ 29
2017	11	9～ 10	製造現場において、昇降梯子を設けていないボックスカルバート1000×700の型枠の組立作業で、型枠にのぼる時に、普段は気付いているはずの型枠保管用固定金具の突起部に長靴が引っ掛かり、体勢を崩し型枠から落下した。落下する際に、隣の型枠に背中を強打	46	391	1	50 ～ 99

			し肋骨を骨折した。				
2017	11	7～8	製品堆積場において、防火水槽端板の堆積作業中、フォークリフトに備え付けの足場台に乗り、吊金具を取り外し終えた時に、停車していたフォークリフトの駐車ブレーキの利きがあまくなっていたことで、後退し始め、リフトが製品から離れてきたため転落の危険を感じ、高さ1.8mの足場台から飛び降り、左踵骨を骨折した。	60	222	1	50 ～ 99
2017	11	8～9	生コンクリートの配送のため走行中、現場手前約3km地点で生コン車後輪がのった途端、林道の右側（谷側）が崩落し、約30m河川敷へ転落した。被災者は生コン車を脱出し、徒歩で工事現場へ助けを求めた。（道幅3m）	43	221	17	10 ～ 29
2017	11	14～15	現場において、コンクリート製品を運び、製品を挟み、吊り上げる機械を使い、トラックから荷卸ししていた時、この機会に左手薬指を挟まれ骨折した。	70	212	7	10 ～ 29
2017	11	7～8	自社駐車場にて大型生コン車の始業点検中、運転席から降りようとした際、一番下のステップを踏み外して背中から落下強打する。	58	221	1	30 ～ 49
2017	11	15～16	鉄筋加工工場でベンダー機による鉄筋の曲げ作業をしていた際、90度曲げのスイッチを操作すべきところ誤って隣にある180度曲げのスイッチを操作して作業したため、機械が作業者の想定以上に作動し鉄筋を保持していた右手が鉄筋に挟まれて、右手中指を負傷した。	40	169	7	10 ～ 29
2017	11	17～18	コンクリート材料の貯蔵タンク増設場所で、架台基礎のコンクリートの型枠を脱型作業中に足場、手摺りのない不安全な状態の中で高さ1m93cm、幅20cmのコンクリート上部に立って脱型したベニヤ材料の受け渡し中に足元のバランスを崩し、真下への転落を瞬間的に避けようとの思いから、体勢を反転させて地上部（高低差1m25cm）へ自ら飛び降りた、その際、左足かかとを強打し負傷した。原因は安全を確保するための措置を講じていなかったことによるもので、深く反省している。	52	416	3	1～ 9

2017	12	5~6	屋内作業場よりハイド板付タイヤショベルを外に出す際、シャッター内側（強風破損防止）の縦に挿し込んでいた木材タルキを取り外す為ハイド板の上に登り取り外そうとしたが抜けなかったのでハンマーで叩いた拍子に滑ってコンクリート土間に落ち腰と肩を強打した。	61	141	1	10 ～ 29
2017	12	14~15	当社敷地内にて、保管していたH形鋼をクレーン車で移動する作業をしていた際、H形鋼を片付けようとしてH型鋼の隙間に手を入れたところ、押さえていたつかえ棒を誤って離してしまい、その反動でH型鋼に手を挟まれた。	44	521	7	10 ～ 29
2017	12	14~15	排水処理場前で、外れてしまったフォークリフトの爪（3本爪の中央）をはめる際、爪のフック部をフォークリフト本体のレールにはめる時に、爪をレールの切り欠き部に手で移動させようと爪を左手で持った事が原因で、爪が切り欠き部にはまった事により爪が下がり、爪と角材の間に左手薬指が挟まり被災した。	60	222	7	30 ～ 49
2017	12	9~10	納入後、工場へ戻りホッパーを洗い、ステップを降りる際、一番下の最後のステップで滑り、地面に足を降ろした時に、右足を捻ってしまった。	53	221	2	1～ 9
2017	12	13~14	ミキサードラム内の生コン洗車をする洗い場において、洗車場のベルトコンベア周辺を調整・清掃中、コンベア運転中に、コンベア側部の異物を除去しようとした際に、右手作業服の袖口がコンベア下部のローラーに巻きつき、ローラー部に右腕が挟まれ被災した。	52	224	7	10 ～ 29
2017	12	13~14	生コンクリートを工事現場に配達中、現場到着後に荷卸しをするため、所定のコンクリート舗装された傾斜のついた道路上で、生コン車から降りて輪止めを設置していたところ、サイドブレーキのかけ方があまかったため、生コン車がひとりでに動きだし、地面と輪止め、タイヤに左手指先が挟まれ、欠損骨折した。	54	221	7	1～ 9
			第2工場Bゾーンにて、型枠1200×900の脱型作業中に、型枠内枠と				30

2017	12	9~10	下台の間を清掃するために内枠をクレーンで支えずにボールだけで移動したところ、内枠が受板を外れたため、内枠が倒れ下敷となり、右手右足の一部を骨折した。	49	391	7	～ 49
2017	12	9~10	工場内で、ショベルで砂を掬うときにタイヤが浮き、その反動で天井に頭をぶつけた。	67	142	3	10 ～ 29
2017	12	9~10	場内作業場において、建屋内の伸縮クレーンで脱型した直 L (TVPE1) H1600 (1469kg) を建屋外の仮置き台に載せたとき、担当者が脱型治具を片側だけ外した状態で現場を離れた。現場近くにいた被災者は、脱型治具が完全に取り外されていると思い込み、クレーンを移動させようと操作したところ、製品片側が吊り上がり、仮置き台より製品が落下して、左足の甲に被災した。	65	211	4	50 ～ 99
2017	12	11~12	事業場内で袋詰め作業を行っているとき、袋詰め機械の紙のずれを直すため、袋詰め機械側に渡り、作業を終えて戻ろうとした際、足場を踏み外してバランスを崩し、袋詰め機械の側面に接触して強打した。	51	169	3	10 ～ 29
2017	12	12~13	現場での生コンの荷降ろし終了後、残った生コンを生コン車上部のホッパーより戻し、ステップを下りる際に足を滑らせ、2m20cm位の所から落下し、左腕を骨折した。	60	221	1	10 ～ 29
2017	12	16~17	年末の大掃除で、構内製品工場・第4工場周辺をミキサー車で水を流したあと、車両から降りるときに右足を骨折した。	53	221	3	50 ～ 99
2017	12	10~11	工場内建屋内で、コンクリート製品を天井クレーンにて吊り下ろす作業を行っていたところ、製品が横に振れて、隣に置いてあった製品にぶつかりそうになり、製品の陰であったため声で合図をしたが、工場内の騒音で操作者に届かず、製品を支えようとした左手が隣に置いてあった製品との間に挟まれ、左手首を骨折した。	64	211	7	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html